

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(計画策定等に係る事業)

令和5年1月 日

協議会名： 鹿角市地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名： 地域公共交通調査事業(計画策定事業)

①事業の結果概要	②事業実施の適切性		③生活交通確保維持改善計画又は地域公共交通網形成計画等の計画策定等に向けた方針
【事業内容】 ・地域住民・利用者のニーズの把握調査 ・公共交通の実態等の整理 ・公共交通の問題点・課題等の整理 ・課題等を踏まえた基本方針等の検討 【結果概要】 ・現行計画に基づく各種事業の分析及び検証から、地域公共交通の現状と課題を整理することができた。 ・市民アンケート調査(2,500名)や高校生アンケート調査等により、住民の時間帯別、場所別の移動需要を把握することができた。 ・事業者ヒアリングにより、公共交通の運行に関する問題点や課題等を把握することができた。 ・基本目標の達成に向けた具体的な取組について検討し、上位計画との整合性を図り、計画の素案を作成した。 ・今後、パブリックコメントを実施し、意見を反映させた後、協議会の承認を経て、「鹿角市地域公共交通計画」として取りまとめする。	A	事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	・既存の公共交通ネットワークを基本としながら、中心市街地における利便性の向上を図るとともに、市内各地からのアクセスや市外との基盤となるネットワークの向上を図る。 ・各種アンケート調査結果を基に、公共交通の現状やまちづくりの観点から、多様な分野との連携により本市の発展に寄与する最適な公共交通ネットワークの構築を目指す。 ・地域の実情に即した公共交通サービスの実現や、誰もが安全・安心に暮らし続けられるまちの実現を目指す。

地域の概要

1. 基礎データ

鹿角市
人口： 28,933人（R4.3.31現在・住民基本台帳）
面積： 707.52平方キロメートル
過疎地域等指定：過疎
高齢化率： 41.4％
交通会議開催数： 5回（R4.5 ～ R5.2）

2. 公共交通の概況

【乗合バス】

①路線バス
運 行：秋北バス(株)
路 線：7路線7系統
運 行：(株)十和田タクシー
路 線：5路線9系統

②コミュニティバス
運 行：鹿角市(委託)
路 線：1路線(花輪市街地循環線「たんぽこまち号」)

【鉄道】
運 行：東日本旅客鉄道(株)
路 線：在来線1路線

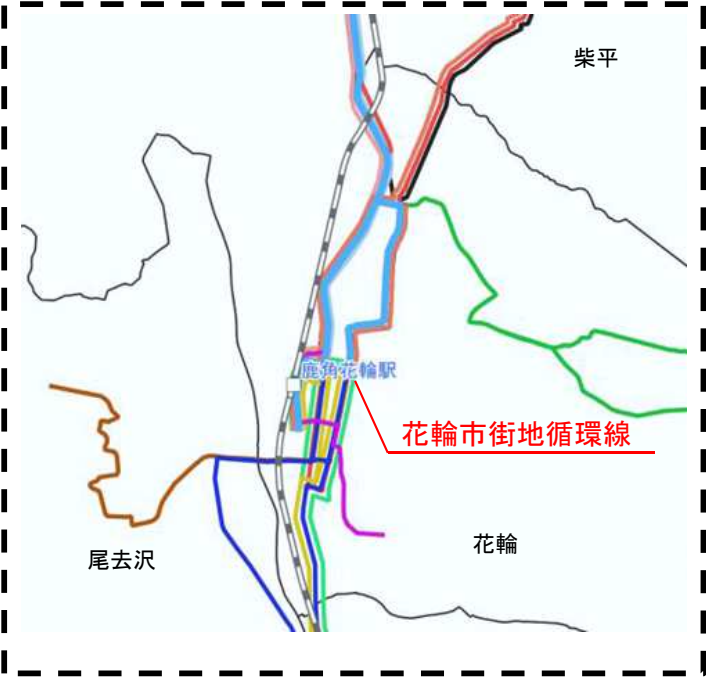
【乗合タクシー】
運 行：タクシー事業者2社
エリア：鹿角地区

【スクールバス】
運 行：鹿角市(委託)
エリア：十和田末広地区

市民の日常の移動手段として、鹿角花輪駅を拠点とするコミュニティバスや路線バス等が運行しており、安心な生活環境を確保する上で、持続可能な交通ネットワークを構築することが必要となる。

3. 公共交通の問題点

- (1)花輪市街地循環線は、日常の買い物や通院など移動実態に合わせた路線バスの運行ルートになっているが、近年は利用者が低下しているため、高水準サービスを活かし利便性を図る必要がある。
- (2)居住地からバス停までの距離が離れており路線バスの利用が困難となっている。
- (3)市北部地域の日常の移動実態に合わせた公共交通ネットワークの検討が必要である。
- (4)市南部の八幡平地域は人口減少により、路線バスの平均乗車密度も低下しているため、利用者の需要に応じたデマンド型運行等を検討する必要がある。
- (5)移動手段を持たない通学者や高齢者層に対し、安心して暮らし続けられる公共交通の維持・確保が必要であるほか、来訪者の移動手段も重要な役割であることから広域的な公共交通のネットワークが必要である。
- (6)バス待合環境は利用者への情報提供の改善や多様な媒体で情報発信が求められている。



花輪市街地循環線 利用実績

年度	利用人数
H25	14,934
H26	15,136
H27	15,024
H28	15,156
H29	14,056
H30	13,811
R1	14,056
R2	11,818
R3	10,962

※記入する際、枠の大きさの変更及び次頁に作成することも可能とします。

鹿角市地域公共交通活性化協議会

調査内容

【事業評価時点で完了している内容】

1. 基礎調査
 - (1) 地域特性の整理
 - (2) 公共交通の実態把握
2. 実態・ニーズ把握調査
 - (1) 既存資料・データの収集・整理・分析
 - (2) バス利用実態調査
 - (3) 市民アンケート調査
3. 地域公共交通の課題の整理
6. 協議会開催(3回)

【今後予定している内容】

4. 鹿角市地域公共交通計画(案)の取りまとめ
5. パブリックコメント実施
6. 協議会開催(残り2回)

調査結果概要

1. (1) 地域特性の整理

- ・本市は秋田県北部を貫流する米代川に沿った鹿角盆地と奥羽山系の山々などから形成されており、総面積707.52km²で、東西に20.1Km、南北に52.3Kmと南北に長くなっている。
- ・国県道沿いに人口が分布する傾向にあり、大湯地域や八幡平地域の山間部は広範囲に点在している。

・平成12年から現在まで減少しており、今後も人口減少は続き、令和22年には2万人を下回り約19,422人となる見込みである一方、高齢化率は上昇する見込みである。

2. (2) バス利用実態調査

- ・本市を運行している路線バスの平均乗車密度は2.0を下回っており、全路線低利用である。
- ・花輪市街地循環線が買い物や通院等を目的とした利用が多く見られ重要な役割を担っている。
- ・小中学校の統合に合わせた経路変更により、朝夕の通学利用が多くなっている。

2. (3) 市民アンケート調査結果(2,500票配布、1,161回収(回収率・46.4%))

- ・市民の日常的な移動実態や活動別における交通手段のほか、公共交通利用に対する意向を把握するため、市民アンケート調査を実施した。

【公共交通の利用実態と潜在需要】

- ・60歳から85歳にかけて、免許証返納に対し関心が高く、近い将来返納者が増加する見込みがあるため、今後の公共交通需要は高まることが想定される。

・自家用車を所有している方及び公共交通を利用していない方が9割を占めている。
・公共交通を利用した方のうち、月に4回程度が最も多く64.1%であり、次いで月5～9回程度が14.6%の利用頻度である。
・利用目的は、通院が56.3%と多く、次いで買い物が30.1%であり、日常生活の移動手段となっている。

【公共交通に必要なサービス・施策】

- ・路線バスの運行本数やダイヤ見直しの要望が多い。
- ・バス停までの移動手段の交通サービスを求める回答が多く地域の実情に合わせた施策が必要となっている。

・路線バスや鉄道の1日の運行本数及び運行時間帯の見直し
・鉄道から路線バスの乗り継ぎ時間の設定
・最寄りのバス停までの距離
・利用方法や運行情報の分かりやすさ など

<課題等>

- ・【市街地ネットワークの強化】花輪市街地における高水準なサービスを生かした利便性の向上及び花輪市街地周辺の公共交通の利用が不便な地域への対応。
- ・【地域間ネットワークの連携・強化】毛馬内地域を中心とした移動への対応や中山間地域の対応。
- ・【利用者ニーズへの対応】利用者ニーズを踏まえた公共交通ネットワークの構築。バス停などの情報の分かりやすさの改善。
- ・【暮らしを支える公共交通の確保】移動手段を持たない通学者や高齢者層に対する公共交通の確保・維持
- ・【関係機関と連携した公共交通の確保】鹿角花輪駅の高い拠点性の維持。ICカードの利活用や民間の移動サービスとの適切な連携等。

<基本的な方針>

基本方針①: 市民・来訪者など地域が使える公共交通ネットワークの形成
基本方針②: 多様な主体の連携による地域で支える持続可能な公共交通の体制構築

<基本目標>

基本目標①: 誰もが移動しやすい公共交通ネットワークの形成
基本目標②: 分かりやすく使ってもらえる利用環境の充実
基本目標③: 持続可能な公共交通の基盤整備

今後の取組みについて

【スケジュール(予定)】

- 1月上旬 第4回協議会開催(書面)
- 1月中旬 パブリックコメント実施
- 2月中旬 議会に対する説明

- 3月上旬 第5回協議会開催実施
- 3月下旬 地域公共交通計画の決定

【地域の交通の目指す姿】

基本理念である「多様なつながりが生まれ誰もが安全・安心に暮らし続けられるまちの実現」を踏まえ、事業者間の連携や公共交通以外の分野との連携により、公共交通の利便性や効率性の向上を図り、持続可能な公共交通のネットワークを構築する。